

罪を犯した人の社会復帰を支える

—「おかえり。」と迎える—

目的：罪を犯し刑事施設へ入所した人も、必ず社会に戻ってきます。その時、高齢であったり、障害があったり、家族がいないなどで、孤立している人は、社会の中での再犯が可能でしょうか。10年前に、下関駅舎が放火された事件がありました。軽い知的障害のある老人が、罪を償って出所した時に誰の迎えもなく、福祉の支援も受けることができず、また刑務所に戻りたくて火を放ったのです。北九州ホームレス支援機構（当時）の奥田会長（今回の講師）は、面会に向き「今度は必ず迎えに行くから」と約束しました。そして先日、その約束が果たされました。（公社）東京社会福祉士会は、司法福祉委員会を中心に、支援策を検討してきました。今回の「講座」では、早稲田大学社会安全政策研究所とともに、この取組みについて考えたいと思います。

日時：2017年2月25日（土）午後1時より5時（終了後、懇親会：自由参加）

会場：早稲田大学 早稲田キャンパス 8号館 106教室

（東京都新宿区西早稲田 1-6-11） 地下鉄東京メトロ東西線「早稲田駅」から徒歩5分

主催：公益社団法人 東京社会福祉士会

豊島区南大塚 3-43-11 福祉財団ビル 5階（TEL. 03-5944-8466 FAX. 03-5944-8467）

共催：早稲田大学社会安全政策研究所（WIPSS）

新宿区西早稲田 1-6-1 早稲田大学 8号館 1126号石川研究室内（TEL. 080-2078-1051 FAX. 03-5286-1324）

企画：公益社団法人 東京社会福祉士会／司法福祉委員会（TEL. 03-6907-0511 FAX. 03-6907-0512）

内容（敬称略）

□**基調講演：「おかえり。」と迎える—地域で支えるために**

奥田知志（認定NPO法人 抱樸 理事長／生活困窮者支援全国ネットワーク 共同代表／牧師）

□**シンポジウム：誰が、どのように支えるか？**

永見光章（東京都保護司会連合会 会長／僧侶）

福田順子（更生保護法人 静修会・荒川寮 施設長／社会福祉士）

才門辰史（NPO法人 セカンドチャンス 代表者／当事者）

指定発言：山田憲児（東京社会事業大学 特任教授）

座長：（松友 了：法務省 東京矯正管区 専門職／公益社団法人日本社会福祉士会 理事）

対象：社会福祉士、保護観察官、保護司等の関係者、一般市民、学生等。立場や職種は問いません。

定員：700人（事前申込制。定員に達した場合は、先着順で締め切らせていただきます。）

受講料：1）東京社会福祉士会の会員・保護司・学生—1000円、2）他の道府県社会福祉士会の会員—1500円、3）その他（一般）—2000円（当日、受付の際にお支払いください。懇親会は別途）

懇親会：講座の終了後、希望者による懇親会を、26号館（大隈記念タワー）15階 レストラン「森の風」にて開催します（参加費：4000円）。参加希望者は、受講申込の際にお申込みください。

申込：下記の必要事項を明記の上、東京社会福祉士会／司法福祉委員会（E-mail: office@waseda-spike.jp FAX. 03-6907-0512）まで、**メール**か**ファックス**でお申込みください。（郵便は不可です）

【**必要事項**】①氏名（ふりがな）、②住所／連絡先（「自宅」か「職場」かを明記／〒・TEL番号・FAX番号、メールアドレスも）、③職場／所属先名、④東京社会福祉士会の「会員」か「非会員」の区別（「会員」の場合は、会員番号と「司法福祉委員であるか否か」を／保護司・学生の場合は、その旨を明記）、⑤懇親会への参加・不参加

問合先：同会／司法福祉委員会（TEL03-6907-0511／不在の場合は090-3108-0358<松友>に転送）へ。

お断り：定員を超過してお断りをするとき以外は、こちらからは連絡をいたしません。ご了承ください。